

2020年5月

学部第3年次生 各位

東京外国語大学学生課

## 2020年度東京外語会奨学金奨学生の募集について

昨年度に引き続き2020年度についても東京外語会の寄付金による奨学生を募集いたします。

採用枠は、2020年4月現在において第3年次生（留学生を除く。）若干名となっています。希望者は募集要項をよく読み、下記のとおり応募してください。

### 記

#### 1. 出願書類

- ①奨学生願書
- ②履歴書
- ③家計状態調書
- ④出願者の収支説明書
- ⑤家計支持者及びそのほかに家計を支えている者の前年分の源泉徴収票または確定申告書の写し
- ⑥健康診断書
- ⑦成績証明書
- ⑧家計状況チェック用紙及び該当する証明書等
- ⑨学修活動履歴書

#### 2. 提出締切

6月5日（金）消印有効

#### 3. その他

書類選考終了後、奨学金選考委員会による面接選考を行います。  
（後日連絡をします。）

#### [連絡先]

学生課奨学金担当

TEL : 042-330-5172

FAX : 042-330-5424

Email : gakusei-kakari@tufs.ac.jp

# 東京外語会奨学金募集要項

## 1. 趣旨

本学に在籍する言語文化学部学生及び国際社会学部学生（留学生を除く。）で、人物及び学業成績等が優れている者に対し、学資の援助として奨学金を支給する。

## 2. 採用予定数

若干名（留学生を除く。留学生には本学国際教育支援基金があるため。）

## 3. 奨学生の資格

下記のいずれかに該当する本学学部学生で、かつ出願する年度の4月1日現在、第3学年に在学していること。

- (1) 学力優秀者（但し、日本学生支援機構第一種奨学金の家計基準を満たしている者）
- (2) 家計緊急困窮者

## 4. 出願及び選考手続

(1) 出願においては、下記の書類を学生課奨学金担当に提出すること。

- ① 奨学生願書
- ② 履歴書
- ③ 家計状態調書
- ④ 出願者の収支説明書
- ⑤ 家計支持者及びそのほかに家計を支えている者の前年分の源泉徴収票または確定申告書の写し
- ⑥ 健康診断書（前年度学内受診のものでも可）
- ⑦ 成績証明書
- ⑧ 家計状況チェック用紙及び該当する証明書等
- ⑨ 学修活動履歴書

(2) 東京外語会奨学金選考委員会の選考を経て、学長が決定する。

選考は、学業成績（第2年次終了時の成績）、家計困窮度、願書及び面接により判断する。

(3) 選考結果は、申請者へ通知する。

## 5. 奨学金の額と給付期間

(1) 奨学金の額 月額30,000円（総額180,000円）  
原則として返還は不要（6. (2) の場合を除く）

(2) 給付期間 奨学生として採用されたその年度の始期から、6ヶ月間

## 6. 奨学金の交付について

(1) 奨学金の交付方法

奨学金は、選考後奨学生が届け出た普通預金口座へ、6月と9月の2回に分けて3ヶ月分を振り込む。（振込月は遅れることがある。）

(2) 併給と支給停止

日本学生支援機構を除く他の奨学団体等から学資の給与又は貸与を併せて受けることはできない。

また、次の場合には奨学金を停止し、その事由等によっては支給済みの奨学金の返還を求められることがある。

- ① 奨学金を必要としない事由が生じたとき。
- ② 病気、事故などのため、成業の見込みがなくなったとき。
- ③ 学業、生活等に重大な支障が生じ、奨学生として適当でなくなったとき。
- ④ 本学の懲戒処分を受け学籍を失ったとき、または自主退学したとき。
- ⑤ 懲戒処分を受け、かつ退学でないとき。
- ⑥ 申請内容に偽りがあったとき。

## 7. 奨学生の義務

(1) 奨学生の連絡先、病気や事故で長期欠席するとき、休学、留学など奨学生の学習・生活状況に重要な変化が生じた場合には、速やかに学生課奨学金担当に届け出ること。

(2) 学業に励み、健康に注意して奨学生に相応しい態度と行動をとらなければならない。

年 月 日

## 東京外語会奨学生願書

東京外国語大学長 殿

氏 名 \_\_\_\_\_ 印  
所 属 \_\_\_\_\_  
言語・地域  
・専攻等 \_\_\_\_\_  
学籍番号 \_\_\_\_\_

この度、東京外語会奨学金に必要な書類を添えて申し込みます。

### 将来の抱負

<hr/>
---

### 奨学金を希望する理由

<hr/>
---

(注意：申請書類により取得した個人情報、東京外語会奨学金事業のためにのみ使用し、それ以外の目的には使用いたしません。)

# 履 歴 書

20 年 月 日現在

写真をはる位置

- 縦36~46mm  
横24~35mm
- 本人単身胸から上
- 裏面のりづけ

ふりがな 氏 名	男・女 印
19 年 月 日生 (満 才)	

ふりがな 本人住所 □□□□-□□□□	電話 市外局番 ( )  ( ) 方呼出
E-mail:	
ふりがな 家族住所 (本人住所と異なるとき記入) □□□□-□□□□	電話 市外局番 ( )

年	月	学 歴 (中学校卒業から記入、大学は学部、学科を記入)

得意な学科	ス ポ ー ツ 趣 味
特 技	性 格
所属クラブ等	健康状態

取得年	月	免 許 ・ 資 格

記入上の注意 1. 鉛筆以外の青又は黒の筆記具で記入。 2. 数字はアラビア数字で、文字はくずさず正確に書く。

# 家 計 状 態 調 書

年 月 日

東京外国語大学 御中

出願者氏名

印

下記のとおり相違ありません。

家族状態	区分	○	氏 名	続柄	年齢	勤務先（学校）	前年度の年収 千円
	1						
	2						
	3						
	4						
	5						
	6						
	7						
	8						

注意事項1. 家計（生計費）を同一にする者は氏名の左に○印をつけます。

2. 上の表には応募者本人も含めて記入します。
3. 続柄は出願者との続柄を記入します。
4. 前年の年収は税込額を記入します。
5. 就学者は公・私立の別が分かるように記入します。

前年度の年収の内容を記入	区分	給 与	商、工業等	農、林、漁業等	その他（ ）業
			千円	千円	千円
	特に記入する事項				税込年収合計 千円

注意事項 1. 年収の内容は、税込額を記入します。

2. 年収の内容の区分欄には、上表の家族区分番号を記入します。
3. 収入額の裏づけとして、必ず市区町村長の発行する所得証明書（前年度の所得が反映されたもの）を添付してください。前年度の証明が間に合わない場合は前々年度のもので構いませんが、この場合は勤務先の発行する前年の収入に対する源泉徴収票または前年の確定申告書の写しを併せて添付してください。（収入の有無にかかわらず父母の分は必須です。）
4. 家計（生計費）を同一にする者の年収のみを記入し、その合計を年収合計欄に記入してください。
5. 応募者本人のアルバイトは収入に含めません。

# 出願者の収支説明書

平成 年 月 日記入

出願者氏名

印

出願者個人の生活にかかる収入と支出を、前年度実績等を参考にしながら今後1年間を想定し、1年間の収支見込(平成 年 月～平成 年 月)を作成してください。

## ○収入

親族から(仕送りなど) 千円

アルバイト等の収入

奨学金※①

授業料免除※②

預貯金引出

借入れ

その他収入

収入計※④

## ○支出

授業料等※② 千円

参考書等

通学費

食費

居住費

衣料費

教育娯楽

日常小遣い

借金返済

家族等への仕送り

その他支出

預貯金預け入れ

支出計

## ○奨学金の内訳(年額)

奨学金団体名	奨学金額	給与	貸与	出願中
1. 日本学生支援機構一種	千円			
2. 日本学生支援機構二種				
3.				
4.				
5.				
計	※①			

## 記入上の注意

※① 「収入」の「奨学金」欄と「奨学金の内訳」の「計」欄の金額を一致させます。「奨学金の内訳」には現在受給中のものを含めた出願中のものすべてを計上し、給与・貸与・出願中欄の該当するものにそれぞれ○をします。

※② 授業料減免がある場合、正規の授業料を「支出」の「授業料等」欄に、減免額を「収入」の「授業料減免」欄に記入します。

※③ 家族と同居の場合、衣食住は出願者が実際に支出する予定額を記入します。

※④ 収入計=支出計となるように記入してください。

